

研修制度

農業・農村の振興と発展に貢献するために必要な基礎的・専門的知識やスキル等の習得を目的とした研修及び講習会を実施し、技術力の向上や技術者の育成に積極的に取り組んでいます。

各研修等はキャリアステップに合わせた時期を計画し、OJT※と連携させて効果的な人材育成を目指しています。

※OJTとは On the Job Training の略称

職場内研修の意で、業務を通じて、必要な知識の習得及び仕事に対する意欲の向上のための指導を行います。（東北農政局では採用1年目から5年目まで実施）

人材育成



係 員	係 長	専門官	課長・支所長
行政技術研修 基礎技術研修 【1年目】 ・基礎養成 ・農業水利基礎養成 ・初任技術 ・農村派遣 等 実践技術研修 【入省5年以内】 ・施設機械 ・施工管理 ・事業計画 ・開水路・パイプライン 等	中堅技術研修 【係長昇任後5年以内】 ・農村振興係長 等	実践技術研修 【専門官昇任1年目】 ・事業推進 等	行政技術研修 【課長等昇任後2年以内】 ・工事課長 等
実践技術研修 【入省20年以内】 ・事業管理 等			
専門技術研修 【入省2年目以降】			
・ダム機能保全Ⅰ ・ダム機能保全Ⅱ ・水利システム ・土木地質	・ため池防災・減災技術 ・施設保全管理 ・農村防災・減災 ・技術指導者	・電気設備 ・用水計画・河川協議 ・農村計画・地域資源 ・生態系保全	・経済効果Ⅰ ・経済効果Ⅱ 等
OJT （採用1年目から5年目まで実施）			



実践技術研修（ストックマネジメント）
現地実習（機能診断調査）



実践技術研修（施工管理基礎）
現地実習（配筋検査）

Q 勤務地は？

東北農政局本局（仙台市）または東北6県の事業所に配属されます。

本人の適性と希望等に基づき、農林水産省本省（東京）や各地方農政局（関東・北陸・東海・近畿・中国四国・九州）、さらに他省庁や海外での勤務の機会も開かれています。

**Q 初任給は？**

基本給（2025年入省の場合）

一般職（大卒） 初任給 **220,000円**

一般職（高卒） 初任給 **188,000円**

○手当：基本給に加え、該当者には扶養手当・通勤手当・住居手当・超過勤務手当・地域手当も支給されます。

○賞与：期末勤勉手当（いわゆるボーナス）が年2回支給されます。

○昇給：年1回

Q 入省後の仕事は？

仕事の内容は、配属先により異なります。

本局（仙台市）では、デスクワークが主体となります。農政を推進する仕事を通して、行政の基礎を学びます。

事業所では、設計・積算・工事監督などの現場業務が主体となります。国が行う直轄事業の実施を通じて、現場に必要な技術を学びます。

Q 勤務時間・休暇は？

平日 **8:30～17:15（7時間45分）**

昼休み/12:00～13:00

休日 **完全週休二日制（祝日も休日）**

○時間差出勤の導入

仙台市内の勤務の場合は、通勤事情により以下の時間から勤務時間を選択できます。

出勤時間 8:30～17:15

9:00～17:45

9:15～18:00

○年次休暇

入省初年度は年間15日、2年目以降は20日。日数は最大20日まで翌年に繰り越し可能で、年間最大40日の休暇が取得可能になります。

○その他

年次休暇に加え、結婚休暇（5日）・夏季休暇（3日）・病気休暇などが制度化されています。

**Q 残業は？**

仕事集中すると残業して処理する場合があります。

残業時間は、配属先により異なりますが、残業が減るように効率的な業務改善に取り組んでいます。

**Q 人事異動・転勤の頻度は？**

人事異動は、本人の適性や希望等を考慮した上で、平均2～3年の間隔で行われます。

人事異動は、様々な業務を経験し、多くの知識と能力を身につけてもらうために行われます。人事異動には引越しを伴うものもあります。

**Q 宿舎は？**

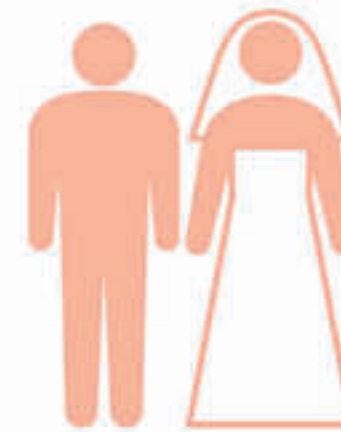
独身用・世帯用宿舎が設置されています。

○宿舎等施設

勤務地の住居として、宿舎が用意されています。希望者は入居することができます。

○福利厚生施設

国家公務員共済組合制度により、全国に医療機関や宿泊・保養施設が設置されており、利用することができます。



採用試験は、人事院で実施する試験（筆記試験、面接試験）に加え、各省庁で実施する面接試験を実施します。人事院試験を合格すると、採用候補者名簿に登録されます。面接等の試験によって、採用候補者の中から採用内定者を決定します。

一般職試験の概要

大卒程度（2025年度）

1995年4月2日～2004年4月1日生まれの者

（2004年4月2日以降生まれの者で大学卒業及び卒業見込み、短大（又は高等専門学校）卒業及び卒業見込みの方等も受験可）

	試験種目	解答時間	配点比率	内 容
第1次試験	基礎能力試験 （多肢選択式）	1時間50分	2/9	30題 知能分野24題 文章理解⑩、判断推理⑦、数的処理④、資料解釈③ 知識分野6題 自然・人文・社会に関する時事、情報⑥
	専門試験 （多肢選択式）	3時間	4/9	40題 数学③、水理学④、応用力学④、 土壌物理・土質力学②、 測量②、農業水利学・土地改良・農村環境整備⑬、 農業造構・材料・施工⑦、農業機械②、農学一般③
	専門試験 （記述式）	1時間	1/9	1題 農業農村工学に関連する領域
第2次試験	人物試験		2/9	人柄、対人的能力などについての個別面接

※○数字は出題数

高卒程度（2024年度）

高校（又は中等教育学校）卒業見込み及び卒業後2年以内の者（中学卒業から2年以上5年未満の方も受験可）

	試験種目	解答時間	配点比率	内 容
第1次試験	基礎能力試験 （多肢選択式）	1時間30分	2.3/9	40題 知能分野20題 文章理解⑦、課題処理⑦、数的処理④、資料解釈② 知識分野20題 自然科学⑤、人文科学⑧、社会科学⑥、情報①
	専門試験 （多肢選択式）	1時間40分	4.7/9	40題 農業土木設計⑬、農業土木施工⑩、水循環⑥、測量④、 農業と環境・農業と情報⑦
第2次試験	人物試験		2/9	人柄、対人的能力などについての個別面接

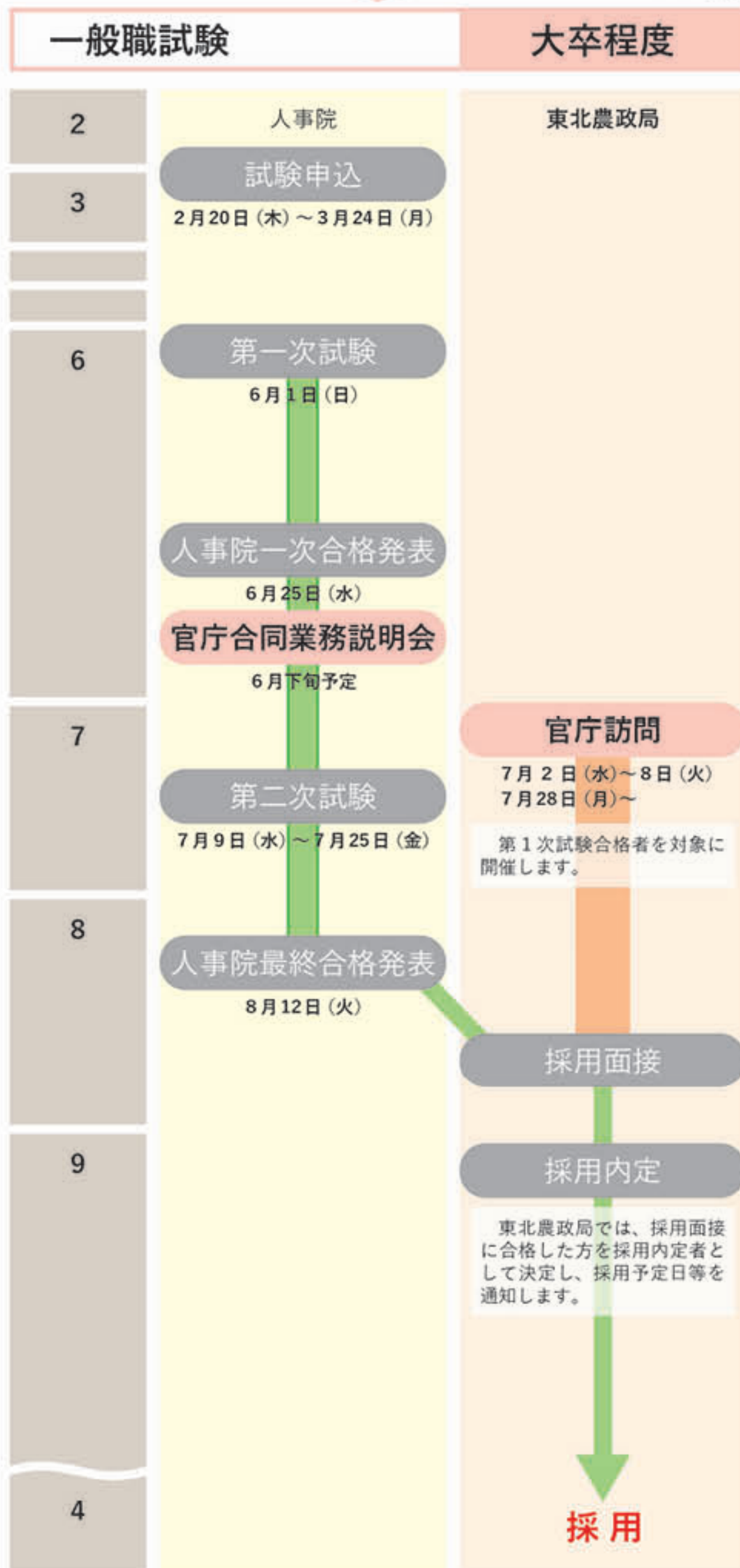
※○数字は出題数

令和7年度の採用スケジュール

大卒程度のキミは
「**農業農村工学**」
を選択！



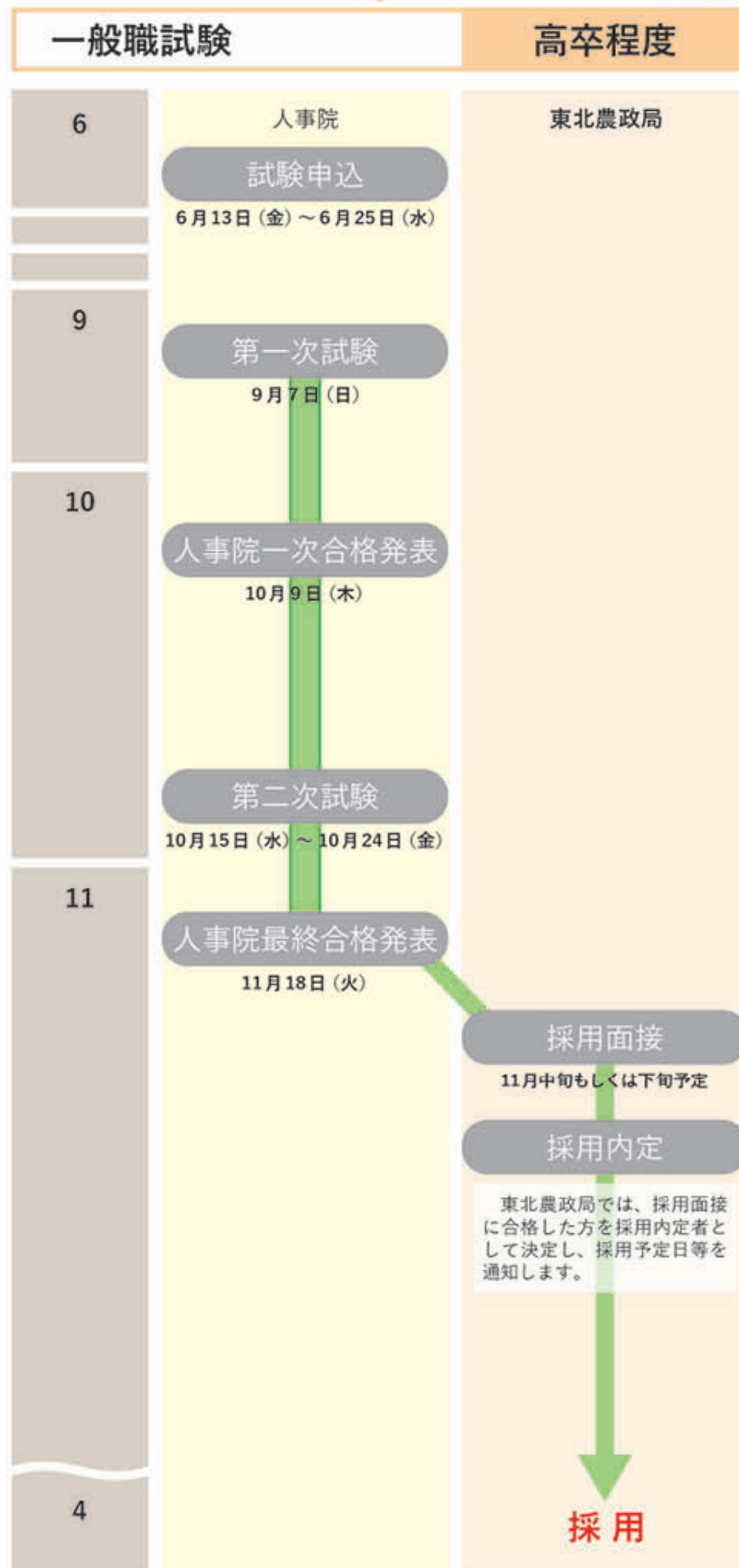
2025年度



高卒程度のキミは
「**農業土木**」
を選択！



2025年度



●試験日程や採用予定者数など採用に関する最新情報

国家公務員試験採用情報 NAVI
<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html> ⇒



人事院東北事務局ホームページ
<https://www.jinji.go.jp/touhoku/> ⇒



大卒程度採用者に聞きました

志望動機は？

- 自分自身が大学で学んだ専門知識を活かせる農政局に就職したいと考えたから
- インターンシップに参加した時に、規模が大きくやりがいがある仕事だと感じ志望した
- 地元を含む農業基盤や農業基盤整備に興味があったから
- 社会の奉仕として仕事をする事ができるから

Q. 平均点は？

(2024年度)

区分	基礎能力	専門(多岐選択)	専門(記述)
満点	30	40	8
基準点	9	12	3
平均点	18.794	18.892	5.697
基準偏差	3.866	5.603	1.417

筆記試験

(1次試験)

Q. 準備期間は？

平均
11.1ヶ月

基礎能力試験

Q. 試験対策は？

- ・過去問をひたすら解き、問題のパターンをつかむようにした
- ・大学で行われた公務員講座に参加し、対策を学んだ
- ・試験時間が短く、問題数も多いことから1問にかける時間を短くした
- ・模試を受け、できなかったところを復習した

Q. 重点科目は？

- ・数的推理
- ・判断処理
- ・文章理解
- ・時事

Q. オススメの参考書は？

- ・過去問500シリーズ
- ・畑中敦子の数的推理・判断推理 The best NEO
- ・公務員講座のテキスト

Q. 試験を受けてどう感じた？難易度は？

- ・難易度は高くないと感じた
- ・緊張してしまい、1問にかける時間が長くなってしまったことで時間が足りなくなってしまった
- ・数的推理が思ったより難しく、時間がかかってしまった

Q. 試験対策は？

- ・大学で公務員対策勉強会があり、それに参加していた
- ・公務員講座
- ・重要箇所をノートにまとめ、過去問をたくさん解いた
- ・参考書を何度も解いた

Q. オススメの参考書は？

- ・農業農村工学必携
- ・スーパー過去問ゼミ土木
- ・農業農村白書
- ・学校で配布された教科書
- ・過去問

Q. 試験を受けてどう感じた？難易度は？

- ・計算問題が難しく、解くのに時間がかかってしまった
- ・しっかりと学習したので、比較的簡単だった
- ・文章問題は比較的簡単だった

Q. 重点科目は？

- ・水理学
- ・土質力学
- ・農業農村工学分野
- ・構造力学

専門試験

面接試験
(2次採用)

Q. 試験対策・心がけたことは？

- ・公務員講座での面接練習
- ・訪問調書の内容を充実させ、想定問を作って面接練習していた
- ・簡単に答えられることでも、一度頭の中で整理して話すように心がけた
- ・面接官に、自分の伝えたいことをしっかり伝えられるように話す
- ・相手の目を見てハキハキと大きな声で受け答えをすることを意識していた

参加したイベントは？

- ・インターンシップ
 - ✓東北農政局に入省したいという思いが強まり、結果として試験対策のモチベーションアップにもつながった。
 - ✓職場の雰囲気や業務内容を知ることができ、働くイメージがしやすくなった。
- ・合同説明会・業務説明会
 - ✓農政局とはどのような仕事をしているのか、どのような人材を求めているのかを知ることができた。
 - ✓直接採用の話も聞いて参考になった。



高卒程度採用者に聞きました

志望動機は？

- 高校で学んだ農業土木の専門的な知識や技術を活かせる仕事に就きたいと考えていたから
- スケールの大きな仕事ができることに魅力を感じたから
- 農家の方々が安心して作物を生産できる環境をつくり、農家の方々の助けになりたかったから
- 異動を通して様々な地域の現状を把握することができるから

Q. 平均点は？

(2024年度)

区分	基礎能力	専門(多岐選択)	専門(記述)
満点	40	40	6
基準点	12	12	3
平均点	17.994	17.078	4.098
基準偏差	5.118	6.807	0.768

筆記試験 (1次試験)

Q. 準備期間は？

平均
10.6ヶ月

基礎能力試験

Q. 試験対策は？

- ・過去問をひたすら解き、自分の得意・不得意分野、問題の傾向や解き方を把握し、問題に慣れるようにした
- ・苦手な問題よりも得意な問題を重点的に繰り返し解いた
- ・学校内の公務員試験勉強会に参加していた
- ・学校外の講習会に参加し、問題の解き方を学んだ

Q. 重点科目は？

- ・数的推理
- ・判断処理
- ・文章理解
- ・社会の出題数が多い科目

Q. オススメの参考書は？

- ・過去問(人事院 HP に掲載)
- ・学校で配布された過去問集
- ・国家公務員・地方初級オープンセサミシリーズ
- ・公務員講座のテキスト

Q. 試験を受けてどう感じた？難易度は？

- ・過去問と同様の難易度であると感じた
- ・難しい問題があり、時間配分が重要だと感じた
- ・判断処理、数的推理に苦労した

Q. 試験対策は？

- ・過去問を何度も解いて、出題の傾向を把握していた
- ・得意な問題を重点的に勉強した
- ・学校外の講習会があり、それに参加していた
- ・学校内で開かれる公務員試験勉強会に参加していた

Q. 試験を受けてどう感じた？難易度は？

- ・過去問と同様の難易度であった
- ・難しい応用問題に時間をかけず、基本的な問題を確実に解く力が必要だと感じた
- ・基本的な問題が多く出題されている印象だった

Q. オススメの参考書は？

- ・人事院 HP に掲載されている過去問
- ・学校で配布された過去問集

Q. 重点科目は？

- ・水理学
- ・構造力学
- ・土質力学
- ・土木工学
- ・測量

専門試験

面接試験 (2次採用)

Q. 試験対策・心がけたことは？

- ・学校の先生方と面接練習、相談を行う
- ・言葉に詰まらず、分からないことは素直に分からないと言えるようにする
- ・難しいことを話そうとせず、面接官の目を見ながら焦らずゆっくりと話すことを意識していた
- ・緊張しないよう、何度も面接練習をして慣れるようにした

人事院 HP



参加したイベントは？

- ・業務説明会
 - ✓業務内容や職場環境について、気になることを直接質問することができ、抱えている不安を解消できる良い機会となった。
 - ✓より一層東北農政局について興味を持つきっかけとなった。
- ・授業による事業所見学
 - ✓大まかな仕事内容を理解でき、実際に働いている職員の方々から具体的な話を聞くことができた。

農業農村工学を活かせる環境はさまざま、自分に合った進路を選ぶ

